

# 福知山 駅付近 連続立体交差事業



京都府



平成17年11月26日 JR線高架開通!

# 事業の効果

## 困っています → こんな街になります

都市の健全な発展には、活力ある都市活動を支える円滑な道路交通の確保とそのための計画的な道路網整備が必要です。

しかし、交通渋滞や事故の発生など踏切が都市交通上の問題となっています。連続立体交差事業により、以下のような点が改善されます。

### 渋滞の解消



さそお

#### 篠尾踏切の状況

踏切による渋滞が頻発しています。鉄道と交差する道路以外にもこの影響が出て、短距離の移動にも時間がかかります。

道路と鉄道が立体交差し、9箇所の踏切が除却されます。これにより交通渋滞が解消されるほか、鉄道と交差する新たな道路も整備されるため、まちのフットワーク機能が高まります。



### 交通の安全



にいはいなり

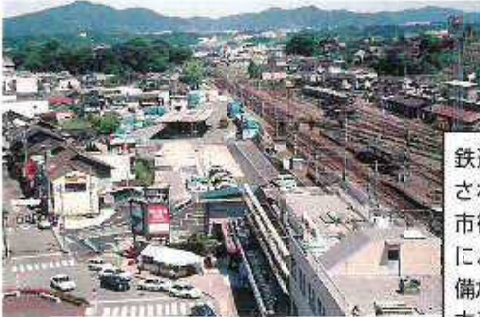
#### 内記稲荷踏切の状況

歩道と車道の区別が不完全で、歩行者は自動車をよけながら狭い踏切を渡らなくてはなりません。

踏切は、通常その前後より道路幅が狭いことが多く、歩行者にとって危険な場所です。連続立体交差事業によって踏切をなくし、歩道を整備するなどして、安全性・快適性が高まります。



## まちの一体化



### 旧駅舎付近の状況

鉄道の南側には、駅から約400m離れた踏切まで行かないと渡れません。

鉄道により分断されていた南北市街地が、高架化により一体的な整備が可能となります。本事業と連携して実施されている土地区画整理事業などにより市街地が活性化され、快適で魅力的なまちづくりを推進できるようになります。

(駅周辺は、土地区画整理事業で整備中)

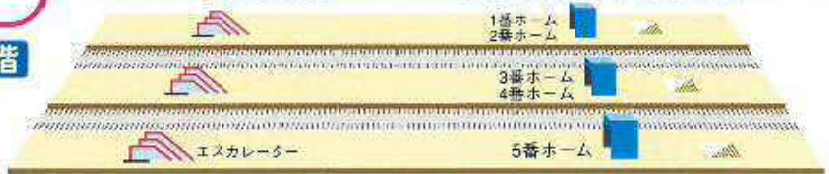


## 駅舎の改築

あたしくなった福知山駅は新しい街の顔として、南北に出入り口が設けられ、各方面からのアクセスが良くなります。

また、お年寄りや体の不自由な方など全ての人が、快適に移動できるようになります。駅施設内の床面の段差をなくしホームへの移動のためにエレベーター・エスカレーターを設置します。また、多機能トイレや、車椅子でも利用しやすい券売機などのバリアフリーを図っています。

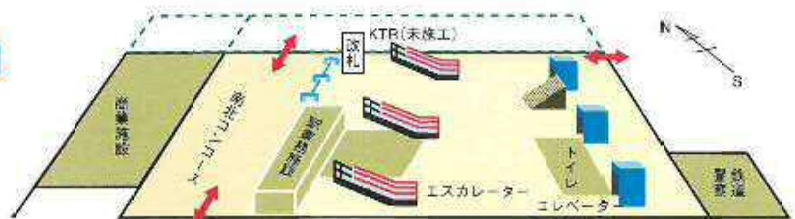
2階



中2階



1階



駅南口



エスカレーター



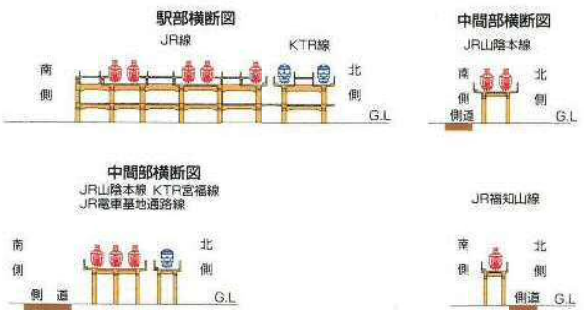
エレベーター

これらのほか、駅南北に駅前広場が整備されるなど交通結節機能が高まるほか、高架下空間の活用による公益施設や利便施設の整備など高度な土地利用が可能になります。また、交通渋滞の緩和によりCO<sub>2</sub>の排出量を抑制できます。

# 福知山駅付近連続 立体交差事業計画図

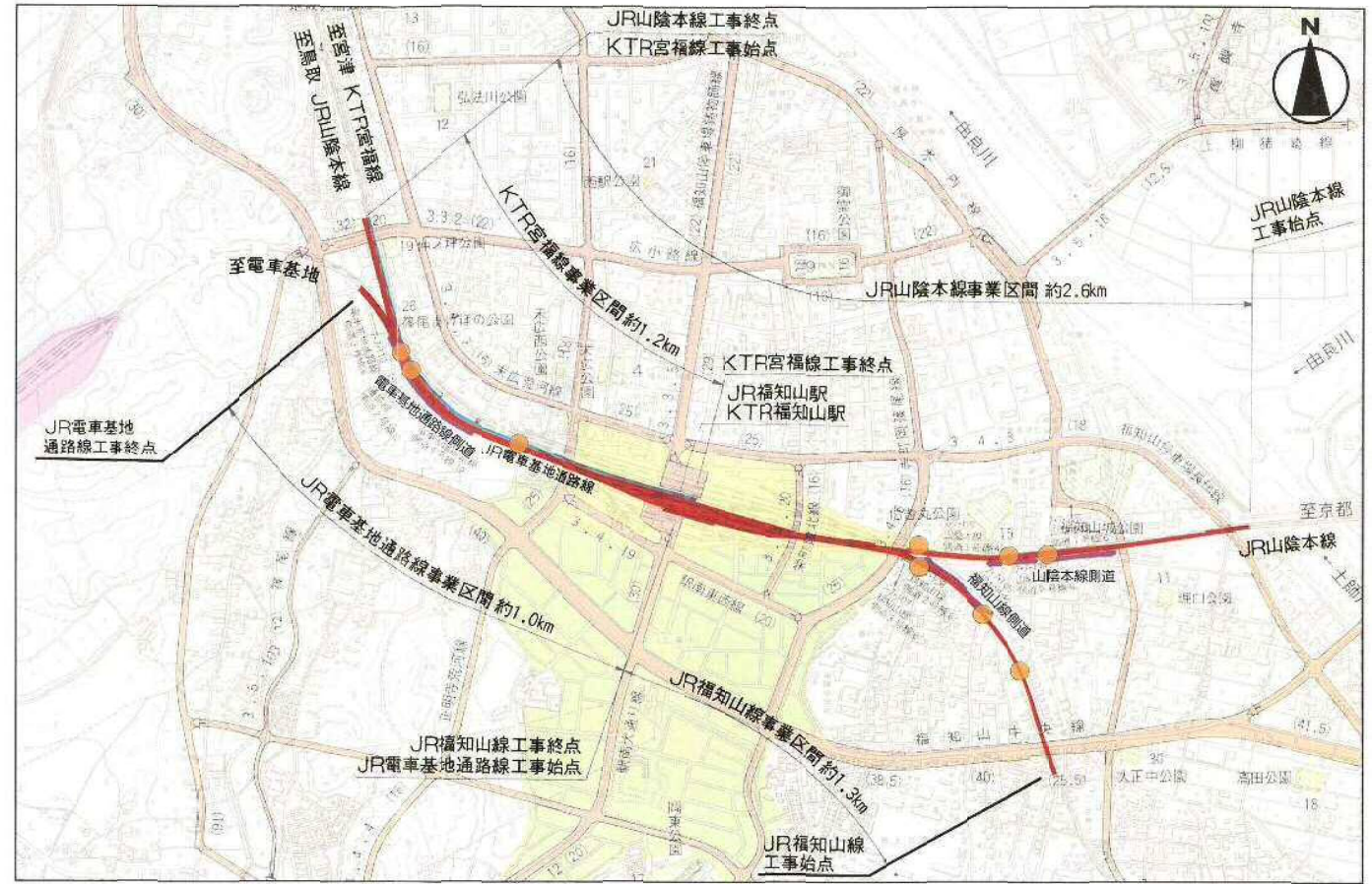
## 凡例

- JR高架事業区域
- KTR高架事業区域
- 除去踏切
- 福知山駅周辺土地区画整理事業区域  
(福知山市施工)
- 福知山駅南土地区画整理事業区域  
(福知山市施工)
- 都市計画道路
- 側道



## 事業概要

|               |             |
|---------------|-------------|
| 高架区間          | 約6.1km      |
| JR山陰本線        | 約2.6km      |
| JR福知山線        | 約1.3km      |
| JR電車基地通路線     | 約1.0km      |
| KTR宮福線        | 約1.2km      |
| 除去踏切          | 9箇所         |
| 駅施設規模         | 4面7線        |
| JR            | 3面5線        |
| KTR           | 1面2線        |
| 鉄道と交差する都市計画道路 | 4路線(幹線道路)   |
| 都市計画決定        | 平成6年4月15日   |
| 事業認可          | 平成8年5月25日   |
| JR線高架完成       | 平成17年11月26日 |
| 全体完成目標        | 平成20年度      |



## 高架橋縦断面図

